

第3回 はたらく部会 報告書

令7年10月21日

| | | | |
|------|--|----|---------------|
| 開催日時 | 令和7年10月21日(火) 15:30~17:00 | 場所 | 千曲市ふれあい福祉センター |
| 部会員 | 部会長(クロスロード)、副部会長(しよう×ちくま)、クロスロード3名、満天の星3名、長野技術専門校、風とくべえ、SAKURA長野南センター、いなりやま共同作業所、まいさぽ千曲、上田養護学校、Fit、事務局2名、千曲市2名、坂城町名) | | |

(1) 報告事項、ほか

| |
|--|
| ○就労選択支援事業について |
| しよう×ちくまでは若年層を中心に5名程度の利用が決まっている。基本は10日間で、日々の振り返りに重点を置いたプログラムを組んでいる。関係機関との連絡調整に課題を感じている。 |
| ○9/11 就労選択支援勉強会について |
| 副部会長による説明があり、多くの参加者が集まつた。利用者本位の就労支援という言葉が印象的だった。 |
| ○9/19 地域連絡会について |
| 各部会から報告事項があり、地域課題として「相談支援員不足」「高齢化」「介護保険との接続」等の意見が出された。 |
| ○10/17 運営委員会について |
| 千曲市福祉課障がい支援係係長による就労選択支援の説明があつた。運営委員による意見交換会を実施し、養護学校から卒業後の進路について意見が出された。 |
| ○9/29 県自立支援協議会就労支援部会研修会への参加報告について |
| 長野大学で開催された研修会には、県内各地の事業所が参加し、情報交換をする機会となつた。障害者雇用について、講演会とグループワークを通じて学ぶことができた。 |

(2) 協議事項 および 内容

| |
|---|
| ○交流会 |
| 参加者をテーマ毎に2グループに分けて交流会を実施し、その後全体で共有した。 |
| テーマ①:「事業所での困りごとについて」 |
| <高齢化> |
| ある事業所では平均年齢が50代後半で、上は77歳から下は19歳までが利用している。 |
| 全体的に高齢化が進んでいるが、要介護がつかず介護保険を使えないため、居場所がないケースが散見される。 |
| 高齢者でも元気な人は元気だが、体力の低下は否めず、半日働くと休んでしまつたり、施設外就労に出ると疲れてしまつたりして思うように作業がはかどらない。 |
| 利用者の定年制度を設けている施設はなく、働きたい高齢者は多い。 |
| 白内障などの医療的ケアも必要となつてくる。 |
| <一般就労への課題> |
| 作業能力は高いが、発語が出来ないために、企業側が受け入れないケースがある。 |
| 一般企業の受け入れ態勢がまだ不十分だと感じる。 |
| 利用者によって作業能力に大きな差があるので、障害者を一括りにはできない難しさがある。 |
| 利用者の経済状況によって、働くことへのモチベーションは大分左右される印象である。 |
| <事業所運営> |
| 農業系の事業所では利用者の確保が難しいところもある。 |
| 様々な職種を提供できると、利用者の確保に繋げやすい。 |
| 仕事を受注するときは、利用者がこなせる作業かどうかと値段交渉を十分に考慮する必要がある。 |
| 基本は適材適所で利用者を配置し、効率的に分担して作業をおこなう。 |
| テーマ②:「就労支援員のスキルアップについて」 |
| <スキルアップとは> |
| スキルアップとはどのようなことを指すのかについて共通認識が必要。仕事の幅を広げるのか、ひとつの事を深く掘り下げるのか、どちらも必要なスキルである。 |
| 勤務経験年数ごとに研修を設けている場合もある。 |
| 福祉の知識がなくて参入してくる事業所もあるので、ベースとなる基本的なスキルは何らかの方法で確保する必要性を感じる。 |
| 事例研究がそのままスキル研修になっている面もあるので、事例研究は大切だと考える。 |
| <事業所運営> |
| 事業所内で人間関係が完結しており、外部との接点が薄い。 |
| 土日出勤が多い。 |
| 施設外就労は稼げるが、職員がそちらに取られてしまうと施設内が手薄になつてしまう。 |
| 各事業所が抱える課題や取り組みを共有することで、自分の事業所での参考にしたり、事業所どうしの協力に結び付けられると、地域全体の障害福祉の底上げにつながると考えられる。 |

(3) 結果

令和7年度第3回はたらく部会はすべての審議が完了した。

地域連絡会で検討したい課題 []

(4) その他（お知らせ・次回開催日など）

| |
|--|
| 12/13 全体会では、1事業所あたり3分程度で事業所紹介を実施する予定。詳細は後日連絡する。 |
| さんきゅーアート展を、千曲市と坂城町の2カ所で実施する。積極的にご参加願いたい。 |
| 千曲市は障害福祉サービスの標準化にともない、11月4日以降、受給者証が新形式に変更になる予定。 |
| 満天の星では、「冬のギフト2025」を作成し募集中。SAKURA長野南センターがデザインを担当した。 |

次回開催 令和8年1月29日(木)14時～ @ふれあい福祉センター